

ひらやま 四号

お世話がんばる
六年一組
三野 吉華



とと う工でれ時むず思 全てルスよりいひはし人な登おこ
しがほど夫にど間すかいそにけ1にう、と行んだ登り校世と私
ていかがを宿、がかしまれ登がル合にけ思かの。校、は話がは
がつにんし題1かしさすに校のをわ1がうな子私は新んであ6
んばもばてを時かくや。しな守せ年を氣いたがん1のすり年
ばいたつ少終間つな宿6勉たいた生さ持とちしに年は。ま生
りあくてしまわのてつ題年強いよたりのせちいをつ入生ん今。す
たりさいでら曲しての生もでうり交ペなにけつかりも長年
いまんまもせをまお量にしす。安し通1いななれりま2にもれ
ですがす時るかうりななつ
す。ん。間なけこ、どつか
そばをどてとよ5てり
れり短い、もく年勉し
をたくろそあ宿生強よ
目いしんれる題よのう
標こよなまけにりむと

雨の日はユカリで

【宮崎日日新聞『若年い五日月十日』】

戦国時代を想像して
六年一組 中田 彩希

【宮崎日日新聞『若い月日』】

かたて中食食
とた。最すにべべお
がい相後ご入まます
分よ手にいっししは、
かくに日顔てたた。
り考せ知にい
まえめ屋なたといを
ましら城つ梅あせ入
たれれ跡て干さがれ
たに地いしんはて
おくをまががま七
城くを見しすおの人
だ。学たつにはで
と守し。
いりま
うがし
ぎので

油とこと承路入そか行
絵こえ見「夫つのいき次までか水、ま
のろたてとさて中たまにし、らざ牧す
具まよいいんいで絵し、た私オん水最
能ががさ最初に若山牧水記念館
三が初んにことを学びまし文
つあめふて学校で歌集に作った学
現氣、でいは一りビ美
方しが音、た、番ま力術
がてしがじー藤氣しソ館
上あま聞つ継井にたのに。
手だなど思
い、細か
り、だ
た。
この人
は、い



知 しがたとかまいやんつれはで堀あ屋屋 人れださ
りままばり、なしのすあつるてはとと城城二だてとん
たたしんしこいたでいりけしき、土地址址つとい知の
い行たツてこそ。攻の、ら、に堀壁をで目思るつ牧
でつ。といかうしげで下れすすにのま、まこ、母
すて、聞たらでかきすをそぐぐいとし、しろ名の
こん矢すしさが見うににたこた城日日たが前名
えだを。れ、るでにたこた城日日たが前名。
てなう実相な相とすやば人ろ。の知知。とに前
くとつ際手い手下。
る、たにかのかに曲
よそり登らからい輪
うの攻つのなもるが
な時げて矢と見人た
気のきみは思やが
が音しる届いす見さ

〔夕刊デイリイ『光の子』
令和六年五月二十四日〕

【『むかばれ西沢新羅』感想】
一回目のむかばれ西沢新羅を終えて
五年一組 野別 來未

えしご らでまががま何 とり
るまう二れもしならし度一がま二
のし炊つる、たい頂たもつ二し日
がた飯目とみ。最上。く目つた間
難。ではいんこ高をでじはあ。の
しまは、うなののめもけ、り私む
かス、はこここ景ざ友て登まはか
つはまんとがと色し達あ山す印ば
たすすごをんかを、ときで
でば、う学ばら見今はらす。
すやマ炊びれ、るまげめ
。くス飯まばつこでまよ登
そつてつでし乗らと見し山
のつかすたりいがた合とで
あかみ。ここでこい思は、
と、まを飯 えときとない

☆入賞おめでとう!☆

【第44回宮崎県少年柔道各学年体重別選手権大会】
《小学1年生の部 重量級》
3位 新名 潤之介(1年1組)
《小学3年生の部 重量級》
準優勝 水野 航誠(3年2組)
《小学5年生女子の部 軽量級》
3位 勇 莉々菜(5年1組)
(3名とも九州大会出場)

【第39回宮崎県道場少年剣道大会】
準優勝 井上湊太(6年1組)
〈全国大会出場〉

【安全監視員の方々との対面集会での児童代表あいさつ感想】
六年一組 西村 奏真

くした しん と さう の たて動
おただ 今たなまと思 うの こん たて年
願 き日いのた うことが生 うの ただ
いこ、は「前 まし がんばる うだ
しれ本 とに登 かかって うさ
まか當財思 たつ くらに うさ
ます。一あ寺ま 立校 うさ
年り小し いち うさ
間が学 うさ
どうと うさ
ぞよ うさ
ろいし うさ
しまい うさ

いに律長 しこいこお
で、「で2たましげ米
すこ「き日。れくてを
。れ協ま間まな感しは
か同しのたがじまん
ら「た活やらまつご
の友むをべたけで
生愛か通みる。ど炊
活」ばしたご友、き
を「きしていは達いま
送奉で、でんとつし
つ仕学、でんすは自もた。
て「ん大すは自然よ
いをだんき。高にり少
いき大くでかおし
た切規成